

令和8年度前期 武蔵野市寄付講座

市の寄付によって大学が開設する特設講座で、大学のキャンパスで一般学生と一緒に受講します。
前期は、日本獣医生命科学大学・武蔵野大学の2大学で開講します。各大学の講座内容や日程などご確認のうえ、お申込みください。
後期は、亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学の3大学で開講予定です。後期のお申込み開始は7月頃を予定しています。



日本獣医生命科学大学

『科学史・獣医史学』：人と動物がつくった社会の歴史

コーディネーター：塚田 晃三（獣医学部教授）

日時：4月14日～7月21日火曜（全14回）午後1時～2時40分



武蔵野大学「住み続けられる建築と都市のデザイン」

コーディネーター：佐藤 桂（工学部准教授）

日時：4月20日～7月27日月曜（全14回）午後4時50分～6時30分

- ・講師・日程・テーマ等が変更になる場合があります。ご了承の上お申し込みください。また、講座の詳細は、自由大学通信 Vol.89、武蔵野地域自由大学ホームページ、武蔵野プレイスホームページでもご覧いただけます。
- ・武蔵野地域自由大学ポイント付与対象講座です。4分の3以上の出席（受講）で、1ポイントが付与されます。

▶募集要項

- 対象：18歳以上で武蔵野市内在住・在勤・在学の方および武蔵野地域自由大学学生
- 定員：各大学50名（超えた場合は抽選）
- 費用：各大学5,000円（資料代）
- 申込方法：以下の①～④のいずれかの方法でお申込みください（自由大学学生以外の方は①～③）。
 - ①ハガキに[希望大学名、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、生年月日、武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名、自由大学学生は学籍番号]を明記のうえ、自由大学事務局「寄付講座」係へ郵送
 - ②直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口にて申込み
 - ③「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」より申込み
(URL: <https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>)
※武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名を備考欄に明記してください。
※インターネットで申込みの場合、抽選結果は各自申込サイトでご確認ください。
 - ④自由大学学生の方は、自由大学事務局へ電話で申込み可(0422-30-1904)

申込みはこちら



●申込期間：1月30日（金）～2月13日（金）必着

●抽選結果公開：2月19日（木）～各大学初日 ※当選者には結果通知を郵送します。

お申込時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

●当選が決定した方の提出物 【提出期間：2月19日（木）～3月7日（土）】

当選者には、2月19日ごろ提出方法など詳細を郵送でご案内いたします。

ご案内を確認のうえ、上記提出期間中に武蔵野プレイス3階自由大学事務局へお持ちください。

- ・費用…各大学5,000円（必要書類提出時に、武蔵野プレイス3階自由大学事務局でお支払いいただきます。）
- ・受講同意書…抽選結果通知に用紙を同封します。
- ・健康診断書…1大学につき1部（コピー可）、自治体で行われる健康診査でも結構です。
【必須項目】①受診者氏名、②受診日（令和7年2月1日以降のもの）、③胸部レントゲン検査結果（フィルム不要）、④医療機関名
- ・証明写真…1大学につき1枚（受講証用。スナップ写真不可。サイズ等詳細は当選のご案内でご確認ください。）
※健康診断書は、受診してから結果がお手元に届くまである程度日数を要します。上記受診日以降の健康診断書がお手元に無い方は、お早目に受診いただきご準備ください。また、証明写真・健康診断書等、受講手続きに要する費用は、受講者の負担となります。

[主催] 武蔵野市
[お問合せ] 武蔵野地域自由大学事務局

〒180-0023 武蔵野市境南町2-3-18 武蔵野プレイス 電話:0422-30-1904



公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう
武蔵野文化生涯学習事業団



ひと・まち・情報 創造館
武蔵野プレイス



武蔵野プレイス HP



武蔵野地域
自由大学 HP

📖 日本獣医生命科学大学 『科学史・獣医史学』：人と動物がつくった社会の歴史

科学は単なる発見や発明の積み重ねではなく、人々の世界観や政治、技術革新、そして価値判断と深く結びつく「文化的営み」です。古代ギリシャの自然哲学から東洋医学、イスラム科学、産業技術の発展、生命科学、近代医学、公衆衛生の成立へとつながる歴史の流れをめぐりながら、私たちが今日「科学」と呼んでいるものを相対化し、より広い視野で捉え直します。

後半では、人と動物の関係が社会をどのように形づくってきたのかを、獣医史学の観点から考えます。動物愛護や動物観の変遷、感染症との闘いが生んだ制度や知識、家畜の疾病が国家や国際社会に与えた影響、そして日本の獣医学教育がどのように育ってきたかをたどり、動物をめぐる社会の姿を浮かび上がらせます。狂犬病や牛疫、口蹄疫、BSEといった重大な疾病の経験は、今日の科学的判断や政策、動物福祉の考え方につながっています。

科学史と獣医史学を通して学ぶのは、過去の知識だけではありません。歴史を振り返ることで、科学が社会とどう関わり、どのような選択の上に現在があるのかを理解し、これからの科学と獣医療をどのような方向に導くべきかを考える視点を養います。

回	月日	テーマ	講師
1	4/14	科学史を学ぶ意味と古代ギリシャの科学哲学	佐々木 典康（獣医学部准教授）
2	4/21	古代医学のさまざまな病態モデル	
3	4/28	中世イスラム科学とヨーロッパへの伝播	
4	5/12	近代科学の広がりー産業と政治	
5	5/19	近代医学発展の光と影	
6	5/26	科学の発展と戦争	
7	6/2	動物愛護史ー生類憐みの令は愛護令？ー	
8	6/9	狂犬病とその対策の歴史	
9	6/16	牛疫の歴史と近代獣医学発達史	
10	6/23	動物園の歴史	
11	6/30	日本における近代獣医学教育史（1）	
12	7/7	日本における近代獣医学教育史（2）	
13	7/14	口蹄疫（FMD）の歴史	
14	7/21	牛海綿状脳症（BSE）の歴史	

📖 武蔵野大学 「住み続けられる建築と都市のデザイン」

武蔵野大学が1929年に築地から現在の西東京市に移転し、武蔵野キャンパスの基礎が築かれてから、まもなく100年が経とうとしています。その間、時代の変遷とともに大学も周辺環境も大きく変化してきましたが、地域の原風景は、キャンパスの内外になお脈々と生き続けているように思います。本講座では、本学建築デザイン学科の教員を中心に、多分野にわたる講師から、地域とともに生き続ける建築と都市のデザインについて、さまざまな専門的視点でのオムニバス形式の連続講義を行います。私たちの地域の未来について、一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちしています。

回	月日	テーマ	講師
1	4/20	開講式 概要説明、ガイダンス、武蔵野キャンパスの歴史	小西 聖子（学長、教授） 佐藤 桂（工学部准教授）
2	4/27	建築のデザインと街の顔づくり	水谷 俊博（工学部教授）
3	5/11	育む環境づくりー小さな公共性の視点から	太田 裕通（工学部講師）
4	5/18	持続可能な建築構造を考える	高橋 智也（工学部准教授）
5	5/25	地域包括支援の研究事例	金 政秀（工学部教授）
6	6/1	防災と日常生活	伊村 則子（工学部教授）
7	6/8	原風景から地域のこれからをデザインする	伊藤 泰彦（工学部教授）
8	6/15	武蔵野モダニズム	玄田 悠大（東京大学学術専門職員） 宮下 貴裕（工学部講師）
9	6/22	人とまちをつなぐ実践と場所づくり	笠置 秀紀（建築家／mi-ri meter） 水谷 俊博（工学部教授）
10	6/29	コミュニティ・アーキテクトとまちづくり	布野 修司（滋賀県立大学名誉教授） 水谷 俊博（工学部教授）
11	7/6	住民イニシアチブと世界のコミュニティ	中川 武（早稲田大学名誉教授） 佐藤 桂（工学部准教授）
12	7/13	住み続けられる町、その今と将来	河津 優司（武蔵野大学名誉教授） 伊藤 泰彦（工学部教授）
13	7/20	多様な主体によるまちづくりの展開	宮下 貴裕（工学部講師）
14	7/27	全体総括 閉講式	風袋 宏幸（工学部教授） 小西 聖子（学長、教授）